

Mercury-ONE バージョンアップ編 目次

バージョンアップ時には、プロテクトの更新または書き換えの後に、最新プログラムにバージョンアップします。

プロテクトの更新または書き換え をおこないます 1

- 1 ネット認証ライセンス(占有)の更新 2
- 2 ネット認証ライセンス(共有)の更新 3
- 3 ネット認証ライセンス(LAN)の更新 4
- 4 USBプロテクト【SNS-W】の書き換え 6
- 5 USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え 7
- 6 プロテクト Q&A 8

Mercury-ONE を バージョンアップします 13

- 1 インストール方法を確認します 14
- 2 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順 15
- 3 「サーバークライアント (共同編集あり)」の
バージョンアップ手順 18
- 4 「サーバークライアント (共同編集なし)」の
バージョンアップ手順 24
- 5 フリーフォーマットを追加します 29

FCコンシェルジュでプログラムを更新することもできます

本書では「インストールDVD」を利用したプログラムの更新手順を解説していますが、「FCコンシェルジュ」を利用して、最新プログラムに更新することもできます。

※「**プログラム保守**」をご契約のお客様専用のサービスです。

FCコンシェルジュ

FCコンシェルジュ

ご案内 スケール予約 **プログラム更新** ネット認証ライセンス 保守契約特典

プログラム更新メニュー

最新版プログラムのダウンロード

最新プログラム及び最新版システムのダウンロードはこちらから。

本サービスは、FCメンバーシップ **安心パック** または **プログラム保守** をご契約の方専用のサービスとなります。
※保守契約期限内に最新版をダウンロードいただけますようお願いいたします。
※マーキュリーフレンドリーサービスも対象となります。

- **建築**
 - ARCHITREND ZERO
 - ARCHITREND
 - 4フォーマットエディション
 - ARCHITREND Modelio
 - 現地分譲シミュレーション
 - ARCHITREND VR
- **ビル**
 - GLOBE
 - J-BIM施工CAD
 - GLOBE VR
- **土木**
 - EX-TREND 測量
 - TREND-POINT
 - TREND-CORE
 - TREND-CORE VR
 - TREND-FIELD
 - 測量作成・連携ツール
- **測量**
 - TREND-ONE
 - BLUETREND XA
 - TREND REGIC
 - 電子納品ツール
 - TREND-POINT
 - TREND-FIELD
 - Mercury-ONE
 - Mercury-Evolute

ご利用中のプログラムを最新ビルドに更新します。

✓ **自動で更新する**
ソフトウェアの自動更新

自動更新設定 ロールバック

● **個別ダウンロード**
マスター/テンプレートの更新
自動更新がうまくいかない方へ

● 各サービスは、保守サポートサービス「FCメンバーシップ」または「マーキュリーフレンドリーサービス」のご契約内容に応じてご利用いただけます。
● 「FCメンバーシップ」のプロテクト・マニュアル交換保証サービスの申請は、こちら(**建築・ビル製品** / **土木・測量製品**)からお願います。
● プログラムのセットアップ作業依頼のお申込みは、次の作業依頼書をご利用ください。 **建築製品用** **土木製品用** **測量製品用**(Mercuryシリーズ用)
● 「マーキュリーフレンドリーサービス(MFS)」の内容については **こちら** をご覧ください。

● FCコンシェルジュヘルプ ● プライバシーポリシー ● ソフトウェア使用許諾契約書

© FUKUKOMPUTER GROUP

セットアップの前に確認してください



Check

セットアップ時の権限について

プロテクトおよび各プログラムをセットアップする場合は、Administrators グループに所属しているユーザーや、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。



Check

セキュリティソフトによる警告について

お使いのセキュリティソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。警告が表示された場合には、セキュリティソフトなどの常駐プログラムを終了してから、セットアップをおこなってください。



Check

データのバックアップをおこなってください

セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVD など)に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

プロテクトの更新または書き換えをおこないます

オプションプログラムの追加購入時や、プログラムのバージョンアップ時には、まず「ネット認証ライセンスの更新」または「USBプロテクトの書き換え」をおこないます。

各ページを参照して、ご利用されているプロテクトの更新/書き換えをおこなってください。

1. ネット認証ライセンス(占有)の更新 2
2. ネット認証ライセンス(共有)の更新 3
3. ネット認証ライセンス(LAN)の更新 4
4. USBプロテクト【SNS-W】の書き換え 6
5. USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え 7
6. プロテクト Q&A 8

1 ネット認証ライセンス(占有) の更新

「ネット認証ライセンス(占有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。



FCコンシェルジュを使用していない場合は画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

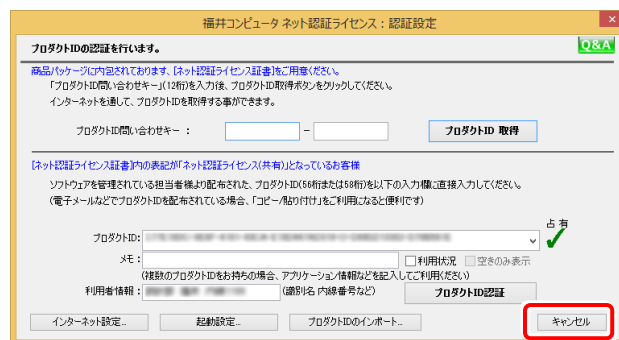


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス: 認証設定」画面(下画面)が表示された場合は

プログラムの起動時に自動的にライセンス情報が更新されますので、更新の必要はありません。

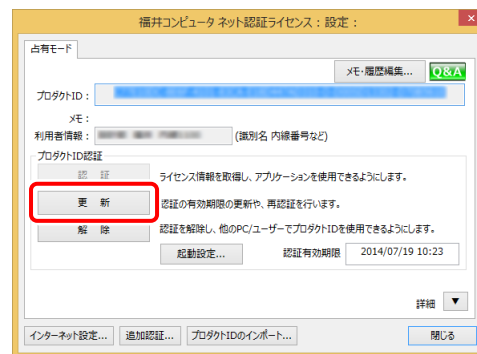
[キャンセル] ボタンを押して画面を閉じてください。



「ネット認証ライセンス: 設定」画面(下画面)が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

[更新] ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

2 ネット認証ライセンス(共有) の更新

「ネット認証ライセンス(共有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

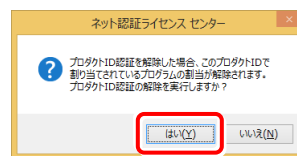
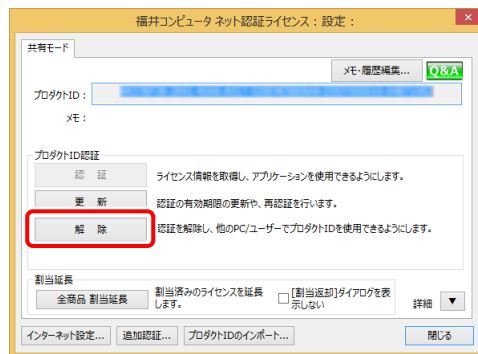


FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

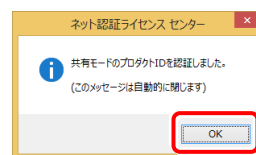
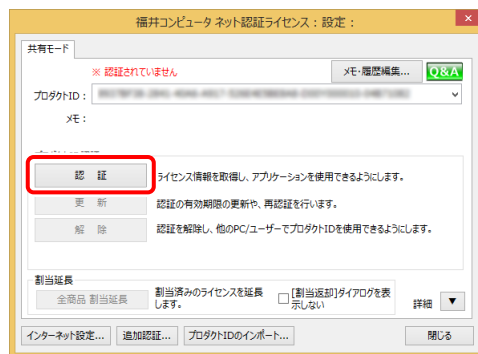


FCコンシェルジュを使用していない場合は
画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

2. 「ネット認証ライセンス:設定」画面が表示されます。
[解除] ボタンを押して、プロダクトIDを解除します。



3. そのまま続けて、[認証] ボタンを押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

3 ネット認証ライセンス(LAN) の更新

「ネット認証ライセンス(LAN)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

Step1 | ネット認証LANサーバーの更新

1. サーバーに「インストールDVD」をセットします。



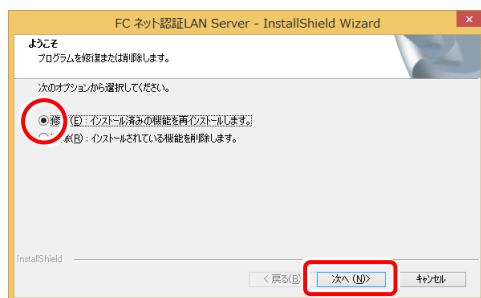
2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。



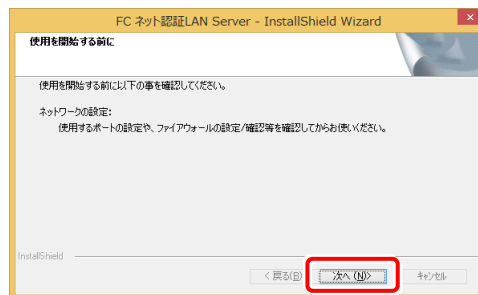
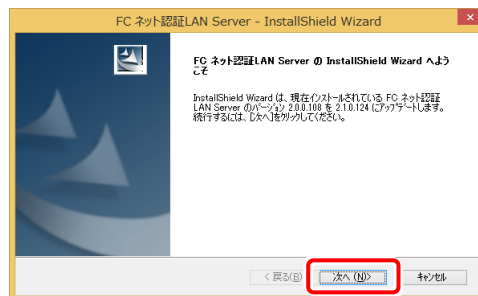
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーを更新します。

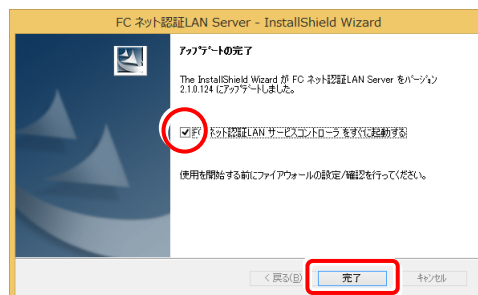
[修復]と[削除]の選択画面が表示された場合は、[修復]を選択してください。



※ 表示される画面は、異なる場合があります。



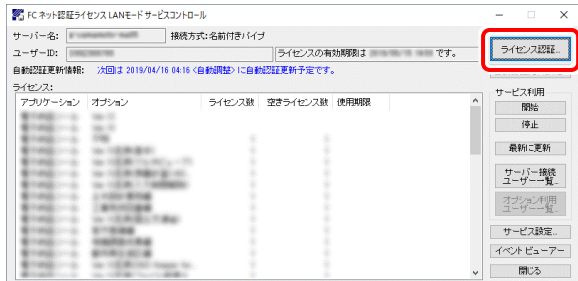
4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックボックスが表示された場合は、「オン」にして、[完了]を押します。



(次ページへ進みます)

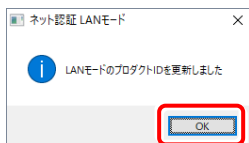
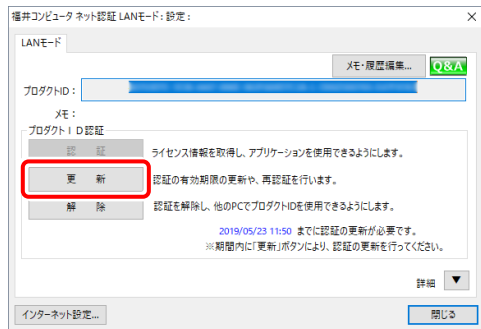
Step2 | ライセンス情報の更新(サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。

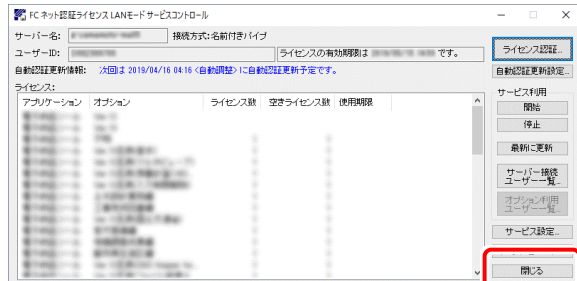


※ 上記画面が表示されていない場合は、
Windows10 : スタートメニュー
Windows8.1 : スタート画面の「アプリ画面」
Windows7 : スタートメニューの「すべてのプログラム」
 から、[FC ネット認証LAN Server]–[FC ネット認証LAN サービスコントロール]を起動してください。

2. [更新]を押します。



3. ライセンス情報が更新されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.13へ

4 USBプロテクト【SNS-W】の書き換え

「USBプロテクト【SNS-W】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを、1つだけ装着します。

※ 1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



(プロテクト書換CD)

3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「SNS-Wタイプ」をクリックします。



※ 表示される画面は異なる場合があります。

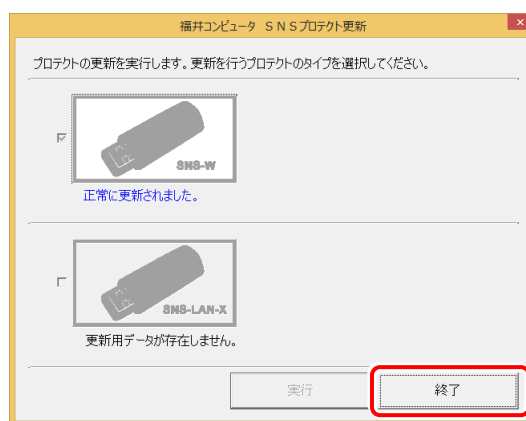
※ 上記画面が表示されない場合は、「プロテクト書換CD」内の [Install.exe] を実行してください。

4. [SNS-W]にチェックが入っている事を確認して、[実行] ボタンを押します。



※ 複数のUSBプロテクトをお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。
必ず1つずつ書き換えてください。

5. 正常終了したら[終了]ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

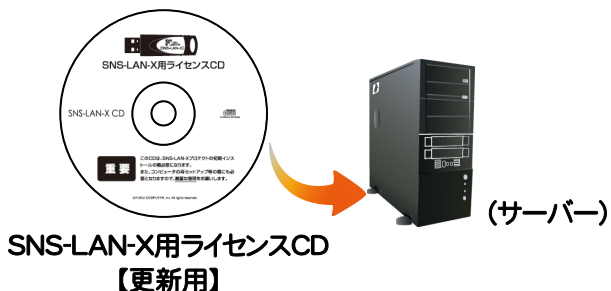
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

5 USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え

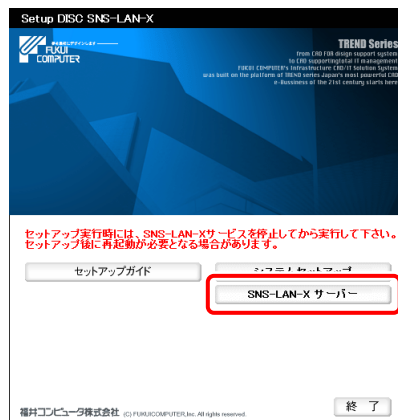
「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

Step1 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)の更新

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーに、送付された新しい「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をセットします。



2. [SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



メッセージにしたがって、プログラムとライセンスを更新します。

以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。
続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.13へ

送付された「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください

サーバー入れ替えなどで、SNS-LAN-Xサーバー(ライセンス管理プログラム)の新規インストールが必要になった場合は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用して新規インストールします。

最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください。

6 プロテクト Q&A

Q.1

ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、どこかに資料はありますか？

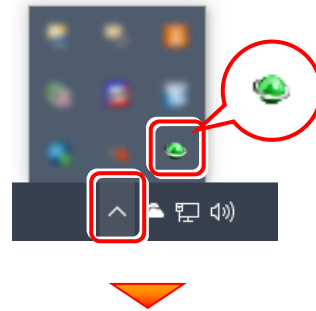
A.1

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面から、ネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。Q&A には、ネット認証ライセンスの機能や、お問い合わせのあった内容について記載されています。

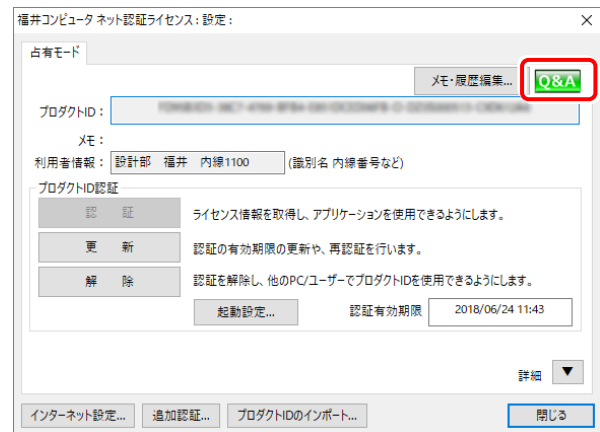
開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

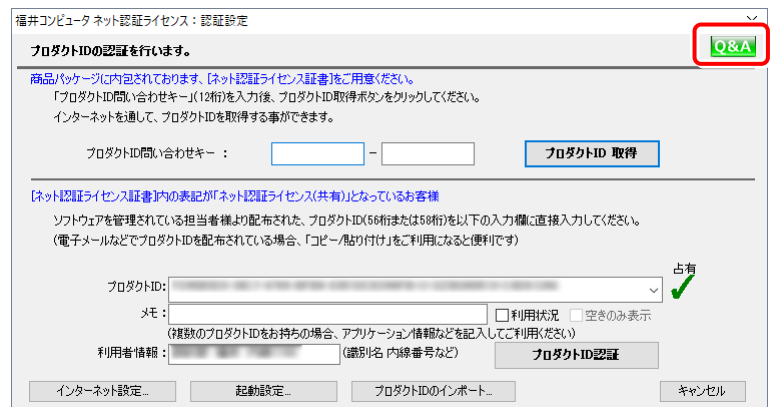


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。[Q&A]ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または



Q.2

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。どうすればいいのでしょうか？

A.2

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。

<p>【ネット認証ライセンス(占有)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [占有モード]を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [LANモード]を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用</p> <p>[ネット認証] - [占有モード+LANモード]を選択</p> 
<p>【ネット認証ライセンス(共有)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [共有モード]を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたサーバーのコンピューター名を入力してください。</p> <p>モードが選択できない場合は、[ネット認証設定]ボタンを押して、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証してください。</p> 	
<p>【SNS-W】を使用</p>  <p>[SNS] - [USBローカル]を選択</p> 	<p>【SNS-LAN-X】を使用</p>  <p>[SNS] - [LAN]を選択</p> 	<p>【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用</p>  <p>[SNS] - [USBローカル+LAN]を選択</p> 

【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着したサーバーのコンピューター名を入力してください。また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」の[オプション]で設定されたポート番号を入力してください。(11ページを参照)

Q.3

ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について教えてください。

A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」で管理します。

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニュー
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントロール」を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール' application. It includes fields for server name, user ID, and license information. A table displays license details such as application, options, license count, and empty license count. On the right, there are buttons for license authentication, automatic update settings, and service control (start, stop, update, user management). A 'サービス設定' (Service Settings) dialog box is also shown, with tabs for connection, action log, and usage log.

[サーバー名]
サーバーのコンピューター名が表示されます。

[ユーザーID]
ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[サービス設定]
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続プロトコルを設定します。

[動作ログ]タブ
使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。

[使用状況ログ]タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

[ライセンス認証]
プロダクトIDの認証・更新などを行います。

[自動更新設定]
認証の自動更新処理について設定します。

[開始]
サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

[停止]
サービスを停止します。

[最新に更新]
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

[サーバー接続ユーザー一覧]
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

[オプション利用ユーザー一覧]
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

[イベントビューアー]
Windows標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証LANサーバーが動作しないときなど、サポートの対応時に使用します。

- [動作ログ]には、アプリケーションの動作状況が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先フォルダーを設定します。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」のサービスの開始時に、ログの取得が開始されます。
 3. サービスの停止時に、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証LAN動作ログ_(日時).log です。
- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先フォルダーを設定します（[間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定）。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

Q.4

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

A.4

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニュー
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」
- Windows7 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」

から、「FC SNS-LAN-X Server」-「FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ」を実行してください。

The screenshot shows the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' window. It includes fields for 'サーバ' (Server) and 'ユーザID' (User ID), a table with columns for 'アプリケーション' (Application), 'オプション' (Option), 'ライセンス数' (License Count), and '空きライセンス数' (Available License Count), and a control panel with buttons for '開始(S)' (Start), '停止(T)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザ(U)...' (Connect User...), and 'オプション(O)...' (Option...). A secondary 'オプション' dialog box is also shown, featuring a 'TCP/IP' tab and a 'ポート番号' (Port Number) field set to 5093.

[サーバ]
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピュータ名が表示されます。

[ユーザID]
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始]ボタン
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止]ボタン
サービスを停止します。

[更新]ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザー]ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション]ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **[ポート番号]**の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- **[使用状況ログ]**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[/パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定)
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

Q.5

「FCコンシェルジュ」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

A.5

「FCコンシェルジュ」に登録していただくと、以下のようなサービスが受けられます。

- ご利用の製品に関する、最新の情報をお知らせいたします。
- ご利用の地域でおこなわれる、イベントやセミナーの情報をお知らせいたします。
- ソフトウェアをアップデート(最新の状態に更新)することができます。

各種オンラインサービスをご利用できます。

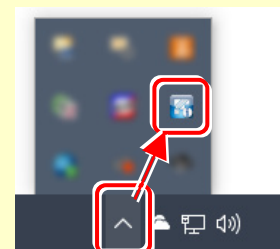
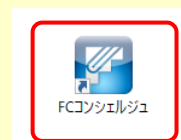
「お知らせ」「自動更新」「サポート」など、福井コンピュータからのお知らせが表示されます。

ご利用されているお客様情報が表示されます。

※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。
 ※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

「FCコンシェルジュ」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



Mercury-ONE を バージョンアップします

バージョンアップ時には、プロテクトの更新または書き換えの後に、最新プログラムにバージョンアップします。

またフリーフォーマットの追加も必要です。

各ページを参照して、プログラムのバージョンアップをおこなってください。

1. インストール方法を確認します 14
2. 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順 15
3. 「サーバークライアント（共同編集あり）」の
バージョンアップ手順 18
4. 「サーバークライアント（共同編集なし）」の
バージョンアップ手順 24
5. フリーフォーマットを追加します 29

1 インストール方法を確認します

Mercury-ONE のインストール方法には、以下の3種類があります。
現在ご使用中のインストール方法に合わせて、プログラムをバージョンアップしてください。

スタンドアロン

すべてのファイルを、
1台のコンピューター
にインストールします。

1台のコンピューターで、
現場データを編集します。

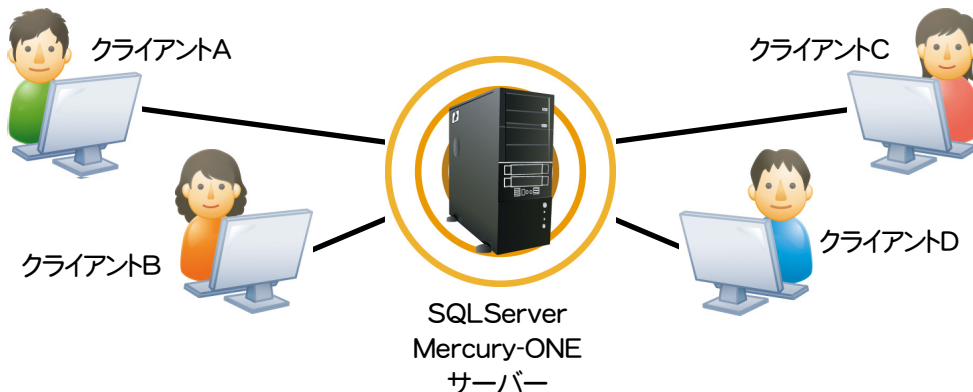


次ページへ

サーバークライアント（共同編集あり）

現場データや設定ファイル
をサーバーで管理します。

現場データを、複数のユーザーで
同時に共同編集できます。

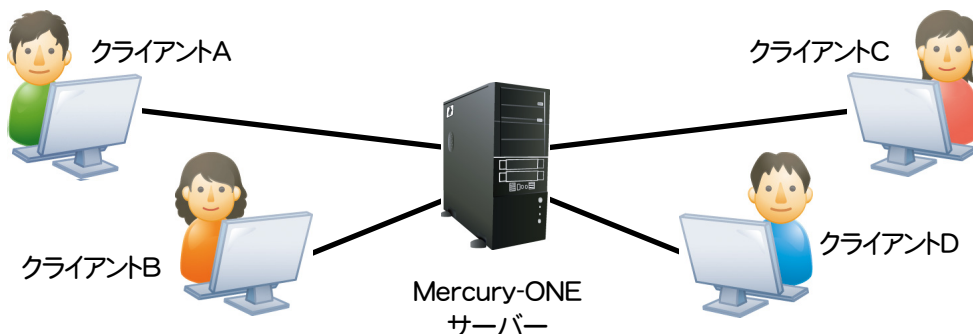


P.18へ

サーバークライアント（共同編集なし）

現場データや設定ファイル
をサーバーで管理します。

現場データの共同編集はできません。

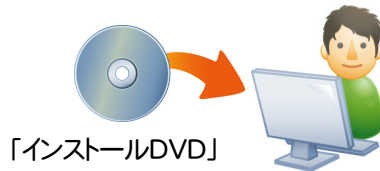


P.24へ

2 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順

「スタンドアロン」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-ONE]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

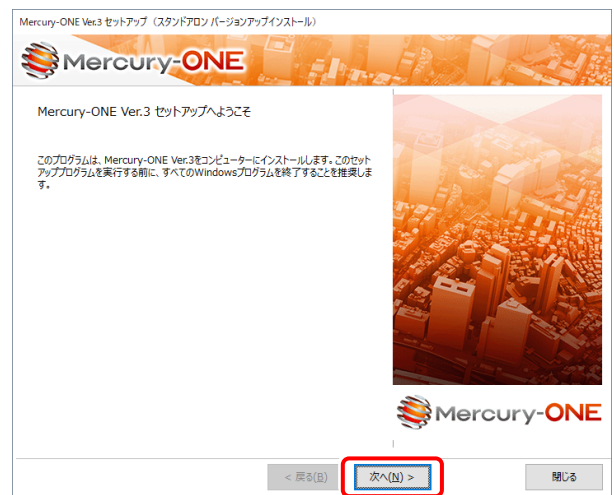
[スタンドアロン]タブを選択します。



① Mercury-ONE]ボタンを押します。

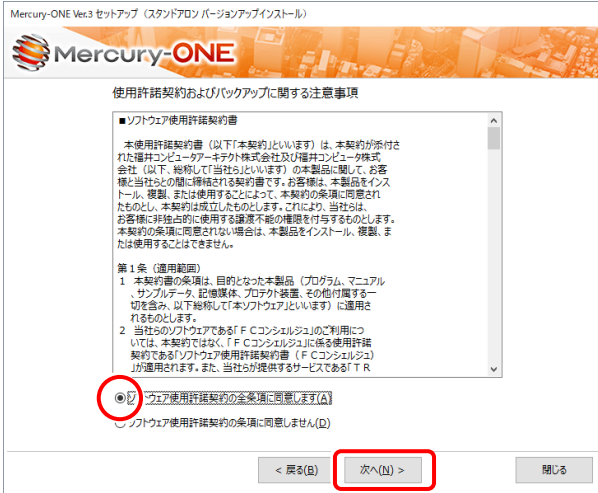


3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、[次へ]を押します。



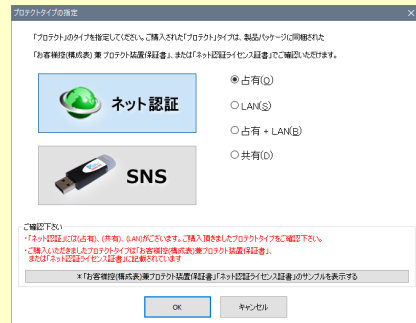
コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)を確認します。必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



「プロテクト」タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、「[プロテクト]タイプを変更する」ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

- **【占有】**： ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
 - **【LAN】(※1)**： ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
 - **【占有 + LAN】(※1)**： ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
 - **【共有】**： ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたサーバー名の入力が必要です。

【 SNS 】

- **【USBローカル】**： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
 - **【LAN】(※2)**： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
 - **【USBローカル + LAN】(※2)**： USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着しているサーバー名の入力が必要です。

(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONE が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

P.29へ

3 「サーバークライアント (共同編集あり)」のバージョンアップ手順

「サーバークライアント (共同編集あり)」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。
まずサーバーで「Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ」をおこないます。
次にクライアントで「Step2 | Mercury-ONE クライアントのバージョンアップ」をおこないます。

まず、サーバーをバージョンアップします

Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-ONE]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント(共同編集あり)]タブを選択します。



[② Mercury-ONE サーバーインストール]ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

3. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONE が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。



サーバーのバージョンアップは完了です。

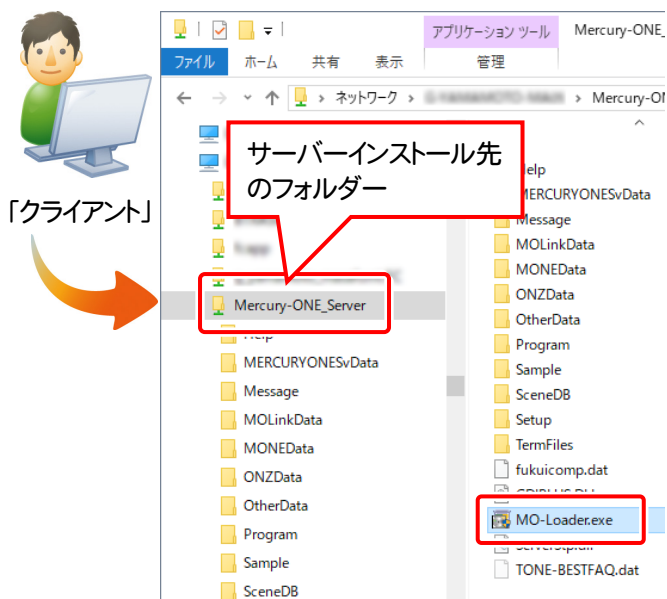
続けてクライアントコンピューターのバージョンアップをおこないます。

(次ページ「Step2」へ進みます)

次に、クライアントをバージョンアップします

Step2 | Mercury-ONE
クライアントのバージョンアップ

1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、「MO-Loader.exe」を実行します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。



すべての項目をチェックしてから、「次へ」ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

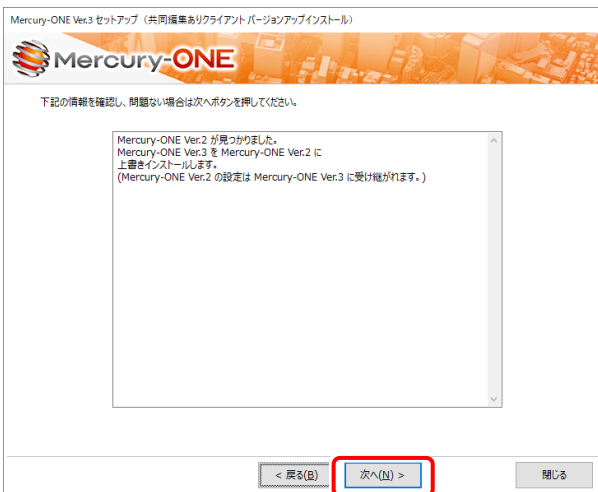
3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



「ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



内容を確認して、「次へ」を押します。

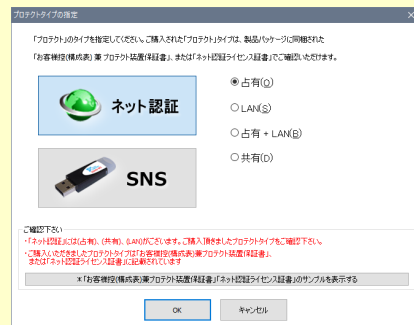


コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)を確認します。必要があれば、変更してください。設定を終えたら、「次へ」を押します。



「プロテクト」タイプの初期値は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、「[プロテクト]タイプを変更する」ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

- **【占有】**： ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
- **【LAN】(※1)**： ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
- **【占有 + LAN】(※1)**： ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
- **【共有】**： ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
(※1) LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたサーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- **【USBローカル】**： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
- **【LAN】(※2)**： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
- **【USBローカル + LAN】(※2)**： USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
(※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着しているサーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)

サーバー名を確認して次へ進みます。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONE が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

P.29へ

4 「サーバークライアント（共同編集なし）」のバージョンアップ手順

「サーバークライアント（共同編集なし）」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。
まずサーバーで「Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ」をおこないます。
次にクライアントで「Step2 | Mercury-ONE クライアントのバージョンアップ」をおこないます。

まず、サーバーをバージョンアップします

Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-ONE]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント(共同編集なし)]タブを選択します。



[① Mercury-ONE サーバーインストール] ボタンを押します。

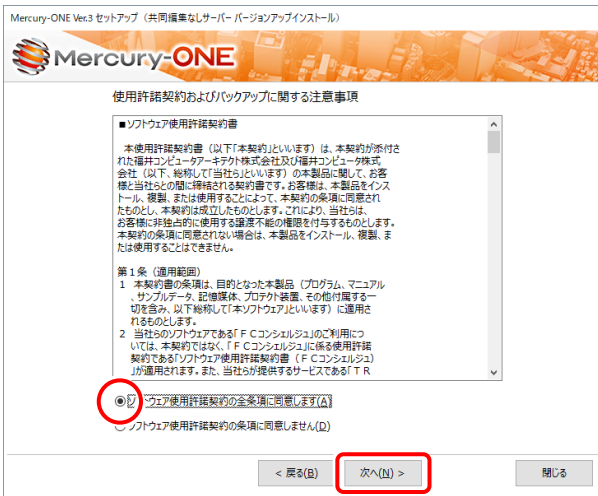


(次ページへ続きます)

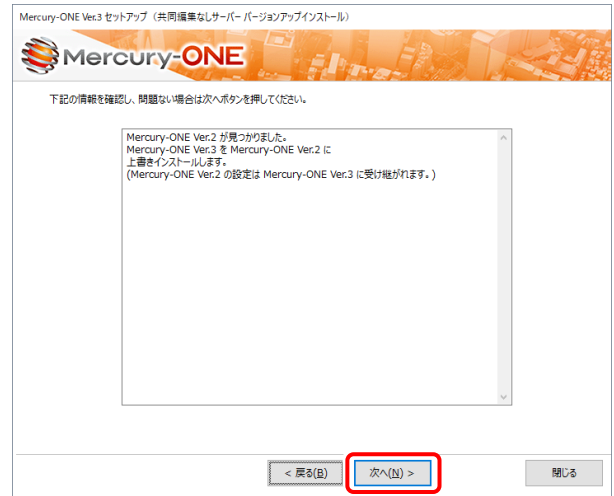
3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONE が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

サーバーのバージョンアップは完了です。

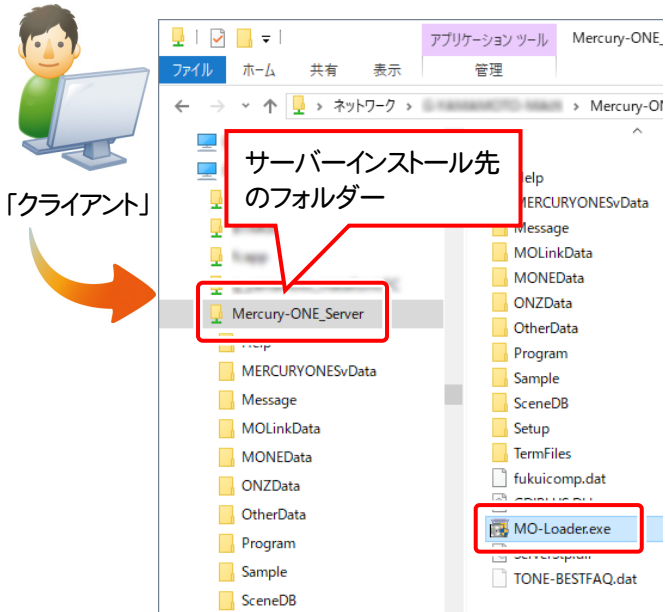
続けてクライアントコンピューターのバージョンアップをおこないます。

(次ページ「Step2」へ進みます)

次に、クライアントをバージョンアップします

Step2 | Mercury-ONE
クライアントのバージョンアップ

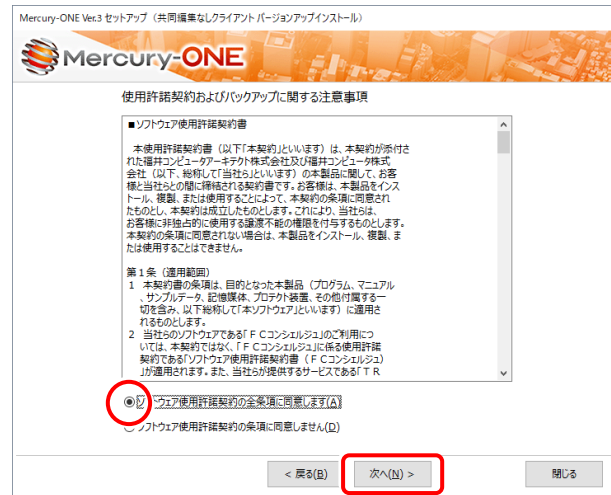
1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、「MO-Loader.exe」を実行します。



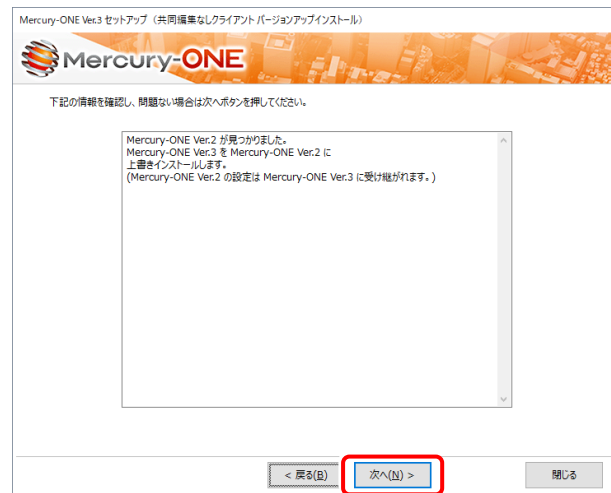
2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、「次へ」を押します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）を確認します。必要があれば、変更してください。設定を終えたら、[次へ]を押します。



「プロテクト」タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、[「プロテクト」タイプを変更する]ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

- **【占有】**： ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
 - **【LAN】 (※1)**： ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
 - **【占有 + LAN】 (※1)**： ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
 - **【共有】**： ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネットワーク認証LAN Server」をインストールしたサーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- **【USBローカル】**： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
 - **【LAN】 (※2)**： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
 - **【USBローカル + LAN】 (※2)**：USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着しているサーバー名を入力してください。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONE が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。



5 フリーフォーマットを追加します

プログラムのバージョンアップ時には、計算書・求積表フォーマットが追加されている場合があります。

最後に、必ずフリーフォーマットの追加を実行してください。

※ サーバークライアント(共同編集あり)(共同編集なし)の場合は、いずれか1台のクライアントで「フリーフォーマットの追加」をおこなえばOKです。このときサーバーのフリーフォーマットが追加されます。

1. Windows 10 の場合

[スタート]ボタン
-[FukuiComputerApplication]

Windows 8.1 の場合

[スタート画面]-「アプリ画面」-
[FukuiComputerApplication]

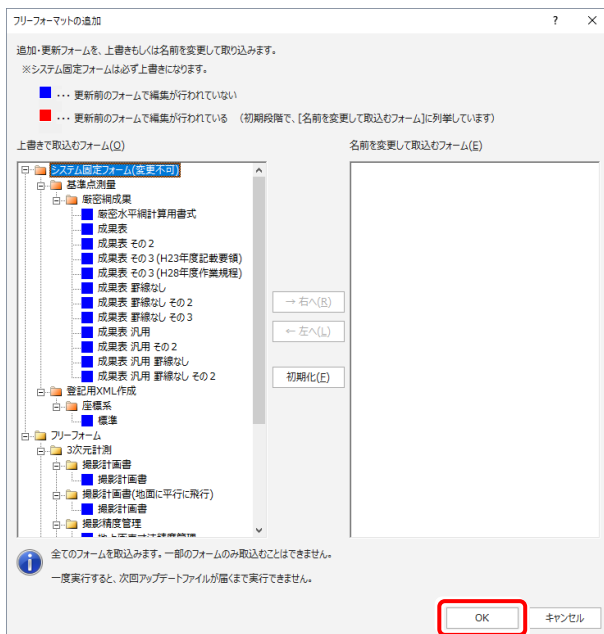
Windows 7 の場合

[スタート]ボタン-[すべてのプログラム]-
[FukuiComputerApplication]-
[Mercury-ONE Ver.3 ツール]

から「フリーフォーマットの追加」を実行して下さい。

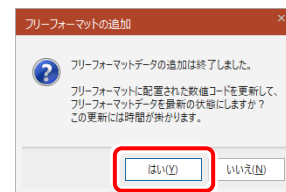
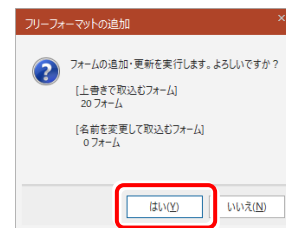
追加の必要が無い場合は、「既にフリーフォーマットデータは追加されています」と表示されます。

2. 追加フォームがある場合は、「フリーフォームの追加」ダイアログが表示されます。内容を確認して、「OK」をクリックします。

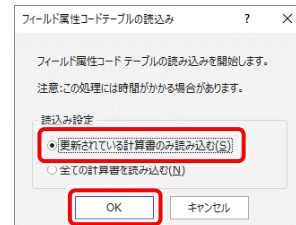


※ ダイアログの項目については、右上の「？」ボタンで表示されるヘルプを参照してください。

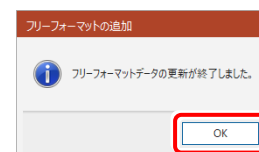
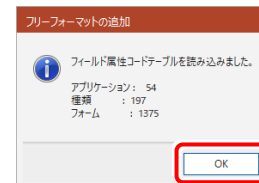
3. 表示されるメッセージにしたがって、処理を進めます。



「更新されている計算書のみ読み込む」を選択して「OK」をクリックします。



処理時間は、環境によって異なりますが、1時間ぐらいかかる場合もあります。その間、コンピューターのシャットダウン等は決しておこなわないでください。



以上で Mercury-ONE のバージョンアップは完了です。